

## 第1回 北水会記念病院 市民講座 レポート

2010年（平成22年）9月5日に開催いたしました「第1回市民講座」の様子を報告いたします。

テーマ	股関節の痛みと付き合うために ～最先端の股関節治療を含めて～
講師	北水会記念病院 股関節センター長 平澤直之 医師
開催日時	2010年9月5日（日）13時30分～15時30分
会場	医療専門学校 水戸メディカルカレッジ（水戸市東原3丁目・水高スクエア内）
参加費	無料

猛暑だった平成22年夏。その暑さの続く9月5日に第1回市民講座を開催いたしました。

当日は、暑い中、定員100名を大きく超える240名もの方に来場いただきました。

玄関ロビーにて。受け付け時間前から来場くださった熱心な方もいらっしゃいました。



会場前には、人工股関節などの模型やパンフレット等の資料を並べました。

皆様、じっくりとご覧になっていました。



会場内の様子です。こんなに多くの方が来場くださいました。



演壇の様子。平澤医師が、股関節疾患とその治療法等をスライドを用いて解説しました。

ご来場者は、平澤医師のユーモアを交えた説明に、最後までじっくりと聞き入っていました。

終了後、会場内にて平澤医師と理学療法士（PT）による個別相談を行いました。



「とても参考になったよ」「また開催してね」そんな温かいお言葉をいただき、お見送りのスタッフもこの笑顔です！

予想を大きく上回る方々にご来場いただきました。初めての開催でしたが、股関節疾患に悩む皆様の姿に触れ、こうした企画の必要性を痛感いたしました。北水会記念病院では、引き続き、市民講座の開催を検討しております。どうぞ、ご期待ください。

## ご来場者の声

当日、ご来場者に回答いただいたアンケートの中から一部を抜粋してお伝えします。

### ①本日の内容で、ご参考になったことをお知らせください。

- ・ 「痛みと楽しく付き合う」という考え方を知りました。(58歳・女性)
- ・ 最新治療法についてはテレビ等で知ってはいましたが、実際の執刀医の先生から最新治療法を聞いたことが大変良かった。(47歳・男性)
- ・ 手術をすることの不安がなくなりました。また、どんな時期に手術をしたら良いかを考えるヒントを得ることができた。(55歳・女性)
- ・ 股関節の手術は思ったより恐れるほどではないということが分かり安心しました。以後の生活にも不安がなくなりました。(57歳・女性)
- ・ 10年位前、股関節治療に携わっていました。その時から格段に技術が進歩していることに感動しました。今後、さらに傷が小さくなることを望みます。(36歳・女性)
- ・ 変形股関節症と診断され、進行していくと言われました。「60歳を過ぎたら人工関節」と考えていましたが、術後、制限がないとの話で少し安心しました。子どもの進学のこともあり、時期を含め、診断していただこうと思います。(53歳・女性)
- ・ 時々、股関節に感じる違和感に不安を抱いていたが、具体的に病気について伺い、股関節のことが理解できた。患ったときには冷静に対応できると思う。(61歳・女性)
- ・

### ②本日、参加されたことで、股関節疾患に対するイメージは変わりましたか？

はい … 124名

いいえ … 4名

回答 … 18名

